

D—8 農村人口の生活行動近代化の条件 —東北・南九州の比較調査から—

厚生省人口研 内野 澄子

1. 農村社会の近代化には、経済生産的側面における近代化と消費・社会生活の近代化の側面におけることができる。ここでは大都市から隔離された農村地域での生活行動やその基底となっている意識が近代的合理性にもとづいたものに展開するための基本的条件をあきらかにすることを目的としている。

2. 調査としては特に低開発地域とみなされている東北岩手および南九州鹿児島 の 2 個の農村を選択し、それぞれ約20世帯について面接調査を行なった。世帯の抽出にあたっては、出稼の有無、経営耕作面積等を考慮すると共に当該地域社会の特性を代表せしめるよう配慮した。調査事項は、食慣習と買物行動を中心とし、その背景として世帯の職業、家族員等について行なった。

3. 本調査によって示唆された点を要約すると次のごとくである。地域人口の生活行動の近代化に強い影響をおよぼす要因は、地域社会の空間的、社会的封鎖性からの解放度、いかえれば都市化の度合によって決定される。さらに都市化は雇用、進学 の 機会、買物センター等経済的、社会的、文化的活動の中心となっている local の都市に対する当該地域社会の接近可能性によって決定される。